

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	胃癌
治療法	ハーセプチン+シスプラチン+ゼローダ併用療法

	1	2	3	
抗癌剤・商品名	ハーセプチン	シスプラチン	ゼローダ	
規格	60mg 150mg	10mg/20mL 50mg/100mL	300mg錠	
一般名	トラスツズマブ	シスプラチン	カペシタビン	
一日投与量(規定)	初回 8mg/kg	60mg/m ²	一日投与量(規定)	
	2回目以降 6mg/kg		体表面積	1回用量
患者情報から算出した一日投与量	初回 400 mg	90.07 mg	1.36m ² 未満	1200mg(4錠)
	2回目以降 300 mg		1.36m ² 以上 1.66m ² 未満	1500mg(5錠)
実際の投与量	初回 400 mg	90 mg	1.66m ² 以上 1.96m ² 未満	1800mg(6錠)
	2回目以降 300 mg		1.96m ² 以上	2100mg(7錠)
投与日	初回 8 mg/kg	60 mg/m ²	day1-14	
	2回目以降 6 mg/kg		day1	
1クール期間	21日間			
予定クール数				
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施			

適応基準	HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌
推奨経口剤	○このレジメンは高度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 イメンド:シスプラチン投与日(点滴開始前)125mg、翌日、翌々日:80mg/日 デカドロン:シスプラチン投与2,3,4,5日目:8mg/日
禁忌	1.重篤な腎障害のある患者 2.本剤又は他の白金を含む薬剤又はフルオロウラシルに対し過敏症の既往歴のある患者 3.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 4.重篤な骨髄抑制のある患者 5.テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中の患者及び投与中止後7日以内の患者
中止基準	投与前の好中球数:1000/mm ³ 未満、血小板数:50,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver.4.0における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●ハーセプチン</p> <p>重大 1.心障害 2.Infusion reaction 3.間質性肺炎・肺障害 4.白血球減少、好中球減少、血小板減少、貧血 5.肝不全、黄疸、肝炎、肝障害 6.腎障害 7.昏睡、脳血管障害、脳浮腫 8.敗血症 9.腫瘍崩壊症候群</p> <p>その他 (10%以上)悪心・嘔吐、発熱、悪寒、疲労 (2~10%未満)頭痛、めまい、味覚異常、感覚鈍麻、ニューロパシー、下痢、食欲不振、口内炎、便秘、腹痛、呼吸困難、咳嗽、鼻出血、発疹、脱毛症、爪の障害、痒痒症、倦怠感、関節痛、疼痛、浮腫、背部痛、無力症、筋肉痛、胸痛、末梢性浮腫、四肢痛</p> <p>●シスプラチン</p> <p>重大 1.急性腎障害(0.1%未満) 2.汎血球減少(0.1%未満)等の骨髄抑制 3.ショック・アナフィラキシー様症状(0.1%未満) 4.聴力低下・難聴(1.4%)、耳鳴(1.7%) 5.うっ血乳頭(0.1%未満)、球後視神経炎(0.1%未満) 6.脳梗塞(0.1%未満) 7.血栓性微小血管症(0.1%未満) 8.心筋梗塞(0.1%未満)、うっ血性心不全(0.1%未満) 9.溶血性貧血(0.1%未満) 10.間質性肺炎(0.1%未満)</p> <p>その他 悪心・嘔吐(74.6%)、食欲不振(62.2%)、脱毛(25.7%)、全身倦怠感(34.8%)</p> <p>●ゼローダ</p> <p>重大 1.脱水症状 2.手足症候群 3.心障害 4.肝障害、黄疸 5.腎障害 6.骨髄抑制 7.口内炎 8.間質性肺炎 9.重篤な腸炎 10.重篤な精神神経系障害(白質脳症等) 11.血栓性紫斑 12.皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)</p> <p>その他 手足症候群(59.1%)、悪心(33.2%)、食欲不振(30.5%)、赤血球数減少(26.2%)、下痢(25.5%)、白血球数減少(24.8%) 血中ビリルビン増加(24.2%)、口内炎(22.5%)、リンパ球数減少(21.5%) 等</p>
備考	

ハーセプチン+シスプラチン+ゼローダ併用療法 観察記録

所要時間: 初回7時間 2回目以降6時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師:		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	ハーセプチン (mg) 一般名(トラスツズマブ)	シスプラチン (mg) 一般名(シスプラチン)		
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止				投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食 500mL +硫酸マグネシウム 10mL 生食 500mL		1時間かけて点滴【500mL/hr】	
			初回 4時間半かけて点滴【111mL/hr】 2回目以降 3時間半かけて点滴【143mL/h】	
		生食 100mL +アロキシV +デカトロン 3 A	30分かけて点滴【200mL/hr】	
		生食250mL+ハーセプチン	初回 90分かけて点滴【167mL/h】 2回目以降 30分かけて点滴【500mL/h】	
		生食 500mL+シスプラチン 【total 500mL】	2時間かけて点滴【250mL/hr】	
	マンニトール注射液 20% 300mL	※300mLのうち200mL使用 (残は破棄)	30分かけて点滴【400mL/hr】	
生食 500mL		1時間かけて点滴【500mL/hr】		
本体終了後除去				
投与翌日、翌々日に1~1.5Lの経口補水を行うよう指導 → 対応困難な際は点滴にて対応すること				